

米子市

認知症 SOS 地域ネットワーク模擬訓練
実施の手引き

令和7年6月

米子市福祉保健部長寿社会課

目次

■ はじめに	2
■ 認知症 SOS 地域ネットワーク模擬訓練とは? ...	3
■ 模擬訓練の種類	4
■ 模擬訓練開催までの流れ	7
■ 模擬訓練が終わったら	13
■ 訓練開催についての相談先	14
■ 関連制度のご紹介	15
■ 様式集	16

はじめに

認知症は特別なことではなく、歳を重ねれば誰でもなる可能性のあるものです。また、若い方でも病気などがきっかけとなり認知症になることもあります。

米子市では…

認知症になってからも、一人一人が希望を持って自分らしく暮らし続けることができるよう、『認知症とともに生きるまちづくり』を推進し、認知症の本人やその家族のための各種施策に取り組んでいます。

認知症 SOS ネットワーク地域模擬訓練もそのひとつです。

認知症の人の外出をそのご家族だけで見守ることは負担が大きく、地域の皆様の協力が必要となってきます。

訓練を通じて、認知症を正しく理解するとともに、地域で認知症の本人を優しく見守り、支える体制をつくっていきませんか？

訓練の実施にあたっては、本手引きをご活用ください。

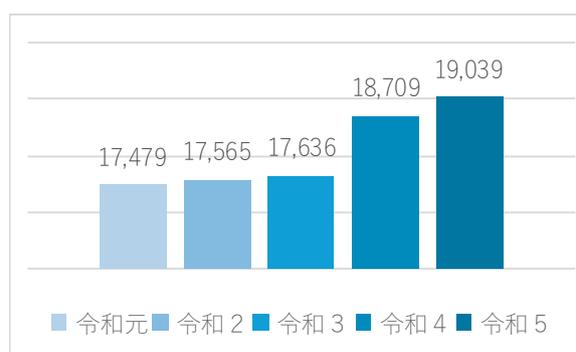
知っていますか？認知症などによる行方不明者の数

全国の行方不明者のうち、認知症やその疑いによる方の数は、令和5年で19,039人であり、年々増加傾向となっています。

※行方不明者とは、警察に行方不明届が出された者の数

【出典】

令和5年における行方不明者の状況
(警察庁生活安全局人身安全・少年課)



| 認知症 SOS 地域ネットワーク模擬訓練とは？

認知症 SOS 地域ネットワーク模擬訓練(以下、「模擬訓練」という。)とは、認知症の人が外出した際、行方が分からなくなったと想定し、地域住民等が行方不明者役を探し、声をかけ、警察への連絡等を行うものです。

模擬訓練の3つの目的

1 認知症への正しい理解を深める

訓練をきっかけに認知症を正しく学び、認知症への理解が深まることで、認知症の人や家族を見守り、支えていく意識が高まります。

2 認知症の人に寄り添った声かけや見守りの方法を学ぶ

訓練をきっかけに、声かけや見守りについてのポイントを知り、練習することができます。

3 地域での見守り体制を整備する

認知症の人を、地域でどのように見守り、支え合っていくのかを考えていくきっかけになります。行方不明になった方をできるだけ早く発見し、保護できるような体制を、地域でつくっていきましょう。



こんな悩みや希望があれば…



認知症 SOS 地域ネットワーク模擬訓練を実施してみませんか？

模擬訓練の種類

模擬訓練の種類には以下の3つのパターンがあります。学びたい内容や開催規模等から、最も合うものを選んで実施してみましょう。



A 声かけ訓練

- 実施内容
行方不明になった認知症の方をまちで見つけたときの**声のかけ方**について、実践を交えながら学びます。
- 学べること
道に迷っている認知症の人への声かけの方法
- 開催場所
屋内または屋外
- 開催規模等
開催準備の手軽さや必要な人員が少ないことから、**比較的少人数**から実施していただけます。
また、訓練の時間は比較的時間が短いので、**認知症サポーター養成講座や地域も行事等と合わせて実施**をすることもできます。

こんなときにピッタリ！

- 少人数から始めたい
- 季節や天候を気にせず開催したい
- 他の行事とあわせてやってみたい
- 認知症の人への声のかけ方について学びたい

B 伝達訓練

○ 実施内容

行方不明になった認知症の人をまちで見つけたときの**声のかけ方**から、**警察への通報・届け出等**について、学びます。

○ 学べること

- ・道に迷っている認知症の人への声かけの方法
- ・警察へ通報する際の注意点やポイント

○ 開催場所

屋内または屋外

○ 開催規模等

比較的少人数から実施していただけます。

また、訓練の時間は比較的短いため、**認知症サポーター養成講座や地域も行事等と合わせて実施**をすることもできます。

○ 備考

警察への通報・届け出の説明については、米子警察署またはお近くの交番に相談してみましよう。

こんなときにピッタリ！

- 少人数から始めたい
- 季節や天候を気にせず開催したい
- 他の行事とあわせてやってみたい
- 警察への通報や届出についても知りたい

C 搜索訓練

- 実施内容
行方不明者役が決まったエリア内を自由に歩き、参加者は行方不明者役を見つけ次第、**声をかけ、警察への通報**を行います。
- 学べること
 - ・道に迷っている認知症の人への声かけの方法
 - ・警察へ通報する際の注意点やポイント
 - ・地域の危険箇所や搜索体制の確認
- 開催場所
屋外
- 開催規模等
開催のための調整や必要な人員が多いことから、**公民館地区単位や自治会単位など大人数**での実施が適しています。
搜索エリアを広げすぎてしまうと、行方不明者役と搜索する参加者が出会う機会が少なくなるため注意が必要です。

こんなときにピッタリ！

- 多くの住民に参加してほしい
- 地域の見守り体制を強化したい
- 実際に近いシチュエーションで練習してみたい



ワンポイント ～いろいろな人に参加してもらうために～

地域の子どもたちへの参加の呼びかけや、行方不明者役を見つけた人へ景品を用意するなど、ゲーム感覚で楽しくやってみるのもいいでしょう。

| 模擬訓練開催までの流れ

1 メンバーを集める

模擬訓練の実施を決めたら、訓練の主催者として一緒に活動してくれる仲間を集めましょう。自治会・婦人会・老人クラブ等、地域で活動されている方々に声をかけてみるのもよいでしょう。

2 地域包括支援センターに相談する

メンバーが集まったら、お住まいの地区を担当する**地域包括支援センターに相談**しましょう。模擬訓練の具体的な手順や方法等について、一緒に考えます。

*お住まいの地区を担当する地域包括支援センターは、14 ページをご覧ください。

3 模擬訓練の計画を立てる

まずは、模擬訓練実施に関する計画を立てましょう。地域での話し合いを進める中で、変更点があれば、適宜修正し、関係者で共有しましょう。

<項目の例>

- ・開催日(+予備日)
- ・開催する地域・拠点となる場所
- ・訓練の内容や類型
- ・参加者の参集範囲
- ・悪天候の際の対応(中止または延期)

★様式1:模擬訓練計画書(P17)



ワンポイント ~安全な実施のために~

自治会活動に関する保険に加入していれば、取り組みが**保証の対象になるか確認**しておきましょう。また、緊急連絡先や水分補給の徹底についても周知するようにしておきましょう。

4 開催までの大まかなスケジュールをつくる

開催までにどんな準備が必要なのかを、取り組む順番に並べ、大まかなスケジュールをつくりましょう。

<項目の例>

- ・訓練実施の周知
- ・参加者への説明
- ・認知症サポーター養成講座の開催
- ・当日の配布資料の作成

★様式2: 模擬訓練スケジュール表(P18)

5 役割を決める

模擬訓練を実施する日が決まったら、当日までの準備の役割や、訓練当日の役割について、相談して決めましょう。

担当	内容
【訓練前】 地域への呼びかけ担当	訓練に協力していただけそうな地域の関係者やお店などに、協力をお願いします。
【訓練前】 認知症サポーター養成講座の手配担当	認知症サポーター養成講座の日程調整や会場確保、講師依頼を行います。
【訓練前】 資料作成担当	地域の方に訓練の開催をお知らせするためのチラシや案内文書などを作成し、配布します。
【当日】 受付担当	訓練当日の参加者受付を行います。
【当日】 進行担当	訓練当日の進行等を務めます。
【当日】 行方不明者役担当	行方不明者役として、決められたエリアの中を歩きます。
【当日】 記録・追尾担当	訓練の様子の写真撮影や、行方不明者役を追尾し、周囲の安全などを確認します。
【当日】 放送担当	公民館の防災無線等を使い、訓練開始・終了の放送を流します。

★様式3: 役割分担表(P19)

6 模擬訓練当日のエリアを決める

地区の広さや特色などに合わせて、模擬訓練当日の行方不明者役が歩くエリアを決めましょう。



ワンポイント ~たくさんの人が声掛けできるように~

検索側が見つけやすいよう、エリアは広くしすぎず、**ゆっくり歩いて30分~1時間程**で回れるくらいで設定しましょう。

★様式4: 検索エリア図(P20)

7 訓練当日のスケジュールを決める

訓練当日のスケジュールを具体的に決めましょう。
訓練の種類ごとに、スケジュールの例を記載していますので、参考にしてみてください。

<スケジュールの例>

A 声かけ訓練の場合

時間	内容
10:00	参加者集合・開会あいさつ
10:05	訓練の流れと声かけのポイントを説明
10:15	訓練開始
10:45	訓練終了
11:00	意見交換会
11:20	閉会あいさつ・解散

B 伝達訓練の場合

時間	内容
10:00	参加者集合・開会あいさつ
10:05	訓練の流れと声かけのポイントを説明
10:15	警察への通報のやり方などについて説明
10:30	訓練開始
11:00	訓練終了
11:10	意見交換会
11:30	閉会あいさつ・解散

C 搜索訓練の場合

時間	内容
9:00	参加者集合、開会あいさつ
9:05	訓練の流れと声かけのポイントを説明
9:20	移動、訓練放送を流す
9:30	訓練開始
10:30	訓練終了
10:45	意見交換会
11:00	閉会あいさつ・解散

★様式5:当日のスケジュール表(P21)

8 地域に訓練開催をお知らせする

地域の皆さんに、訓練を実施することをお知らせしましょう。回覧板や、自治会員への全戸配布、防災無線による事前放送などで広く周知しましょう。

<お知らせする内容の例>

- ・訓練開催日時
- ・開催場所
- ・訓練開催の目的
- ・認知症サポーター養成講座の参加者募集

9 認知症サポーター養成講座を開催する

地域の皆さんを対象とした**認知症サポーター養成講座**を計画し、開催しましょう。認知症についての理解はもちろん、認知症の人への接し方のポイントなど、訓練に活かせる内容を学ぶことができます。

認知症サポーター養成講座

認知症サポーター養成講座とは、地域で認知症の人やその家族を支援する「**認知症サポーター**」を養成するための講座です。講座を受講すると、認知症に関する正しい知識や関わり方を学んだ証として「**オレンジリング**」をお渡しします。

【内容の例】 サポーターの役割、認知症の当事者の声、
認知症の症状、認知症とともに生きるための工夫 等

<認知症サポーター養成講座の講師を派遣しています>

- 講座時間 90分程度
- 参加人数 およそ5名以上
- 受講料 無料
- 申込み 米子市長寿社会課(☎23-5156)
または地域包括支援センター



10 当日の準備をする

当日参加者に配布する資料やアンケート等を作成しましょう。

<配布資料の例>

- ・当日のスケジュール
- ・声かけのポイント
- ・訓練の注意事項
- ・搜索エリア図
- ・アンケート



行方不明者役の方が身に着ける**ビブス**や、**米子市認知症見守りシール**は、米子市から貸し出しできます。お使いになる場合は、米子市長寿社会課(☎23-5156)までご連絡ください。

<ビブス>



<認知症見守りシール>



| 模擬訓練が終わったら

模擬訓練が終わったら、参加した方の感想や意見を聞くために、**意見交換会を開催**しましょう。

<意見交換会で話し合う内容の例>

- ・認知症に対する考え方への変化や気づき
- ・訓練の感想や反省
- ・訓練から感じた地域の課題
- ・課題解決のための工夫
- ・次回以降の訓練の改善点

★様式6：意見交換メモ(P22)



ワンポイント ～訓練の普及のために～

訓練で実施した内容をまとめた**チラシの作成**や、地域の会議での**実績の発表**などを行うと、訓練のさらなる普及や地域全体での認知症への関心の向上につながります。



訓練開催についての相談先

1 米子市地域包括支援センター

名称	担当区域	住所	電話番号
東山地域包括支援センター	啓成・車尾	錦町一丁目 139 番地 3 米子市福祉保健総合センター2階	23-5471
福生地域包括支援センター	福生東・福生西	皆生新田一丁目 5-1	30-2840
福米地域包括支援センター	福米東・福米西	西福原二丁目 1-10 米子しんまち天満屋 3階	36-8001
湊山地域包括支援センター	明道・就将	末広町 311 米子駅前 ショッピングセンター4階	23-6790
後藤ヶ丘・加茂地域包括支援センター	義方・住吉 加茂・河崎	上後藤 3-3-3	48-1365
尚徳地域包括支援センター	五千石・尚徳 永江・成実	永江 562	26-6588
弓浜地域包括支援センター	彦名・夜見 富益・崎津 大篠津・和田	大崎 1511-1	48-2330
箕蚊屋地域包括支援センター	巖・春日 大高・梶	一部 555	27-6500
淀江地域包括支援センター	淀江・宇田川 大和	淀江町淀江 1075	56-1118

2 米子市福祉保健部長寿社会課

介護保険第二担当

☎0859-23-5156 ✉choju@city.yonago.lg.jp

関連制度のご紹介

1 米子市認知症見守りシール交付事業

認知症の人が行方不明になった場合の早期発見に役立つ**見守りシール** (計 30 枚) を無償交付しています。

【申請方法】

米子市長寿社会課に申請書と登録シートを提出



模擬訓練で、**見守りシール(テスト用)**をお使いいただけます。
希望がある場合は、長寿社会課(☎23-5156)までご連絡ください。

2 米子市認知症見守り GPS 機器購入費等補助金

GPS 機器の購入やレンタルに係る費用を**上限 10,000 円**で助成します。
※月々の利用料金は補助の対象外

【申請方法】

米子市長寿社会課に交付申請書と購入・レンタルの見積書を提出

認知症の人の見守り支援サービス (GPS) 購入・レンタルの助成を始めます

利用対象者
次のいずれかの要件に該当する方を在宅で介護している方

- 65歳以上の認知症の方で、行方不明になる可能性のある方 (米子市在住)
- 若年性認知症の方で、行方不明になる可能性のある方 (米子市在住)
- その他、行方不明になる可能性のある方で、市長が選定と認める方

補助対象

機器	GPS 位置情報システムで位置情報を確認することができる機器 のスマートフォンや携帯電話に限ります
経費	GPS 機器とその附属機器の購入費 レンタルにかかる購入手数料及び登録手数料
補助額	経費の額に相当する額 (上限 10,000 円) ※1,000円未満の端数は切り捨てます
注意点	補助金の交付は1人につき1回に限り 月々の利用料金は助成の対象外です

3 米子市認知症高齢者等事前登録制度

認知症や障がい等により行方不明になる可能性のある方の情報を事前登録し、**米子警察署と共有**します。

【申請方法】

米子市長寿社会課・地域包括支援センターに申込書と写真2枚を提出

米子市 認知症高齢者等事前登録制度
～住み慣れた地域でいつまでも～

事前登録制度とは?
認知症や障がい等により、行方不明になる可能性のある方を、希望により事前登録しておくことで、早期発見・保護するための制度です

登録の対象者
市内にお住まいで行方不明になる可能性があり、次のいずれかに該当する方

- 認知症の高齢者 (申請時点で65歳以上の方)
- 若年性認知症の方
- 精神障がい又は知的障がいのある方
- その他、市長が必要と認める方

登録の方法
米子市長寿社会課またはお住まいの地区を担当する地域包括支援センターに申請書と写真 (顔写真と全身) を提出してください
・申請できるのは、本人又は家族です。
・申請書の様式は市ホームページに掲載しています。

登録すると
登録した情報は市と警察署とで保管し、行方不明になった場合の早期発見等に役立てられます

もしも行方不明になったら...
ためらわず、早めに交番や警察署へ連絡してください!

鳥取県の「あんしんトリビュート」では行方不明者の情報送付の内容等も入ることができます。
その際、1枚の写真に必要なお名前を付記できます。

【申請・問い合わせ先】
米子市福祉保健課長寿社会課
(〒683-8686 米子市成瀬町1丁目1番地)

TEL 0859-23-5541
E-mail choju@city.yonago.lg.jp

樣式集

★様式1

模擬訓練計画書

〇〇地区認知症 SOS 地域ネットワーク模擬訓練	
開催日時	年 月 日 () 時 分から 時 分
開催地域	
訓練内容	
参加者	
悪天候の際 の対応	
その他	

★様式2

模擬訓練スケジュール表

月 日	内容	チェック
月 日		
月 日		
月 日		
月 日		
月 日		
月 日		
月 日		
月 日		
月 日		
月 日		

*完了したらチェック欄に○を記入しましょう。

★様式3

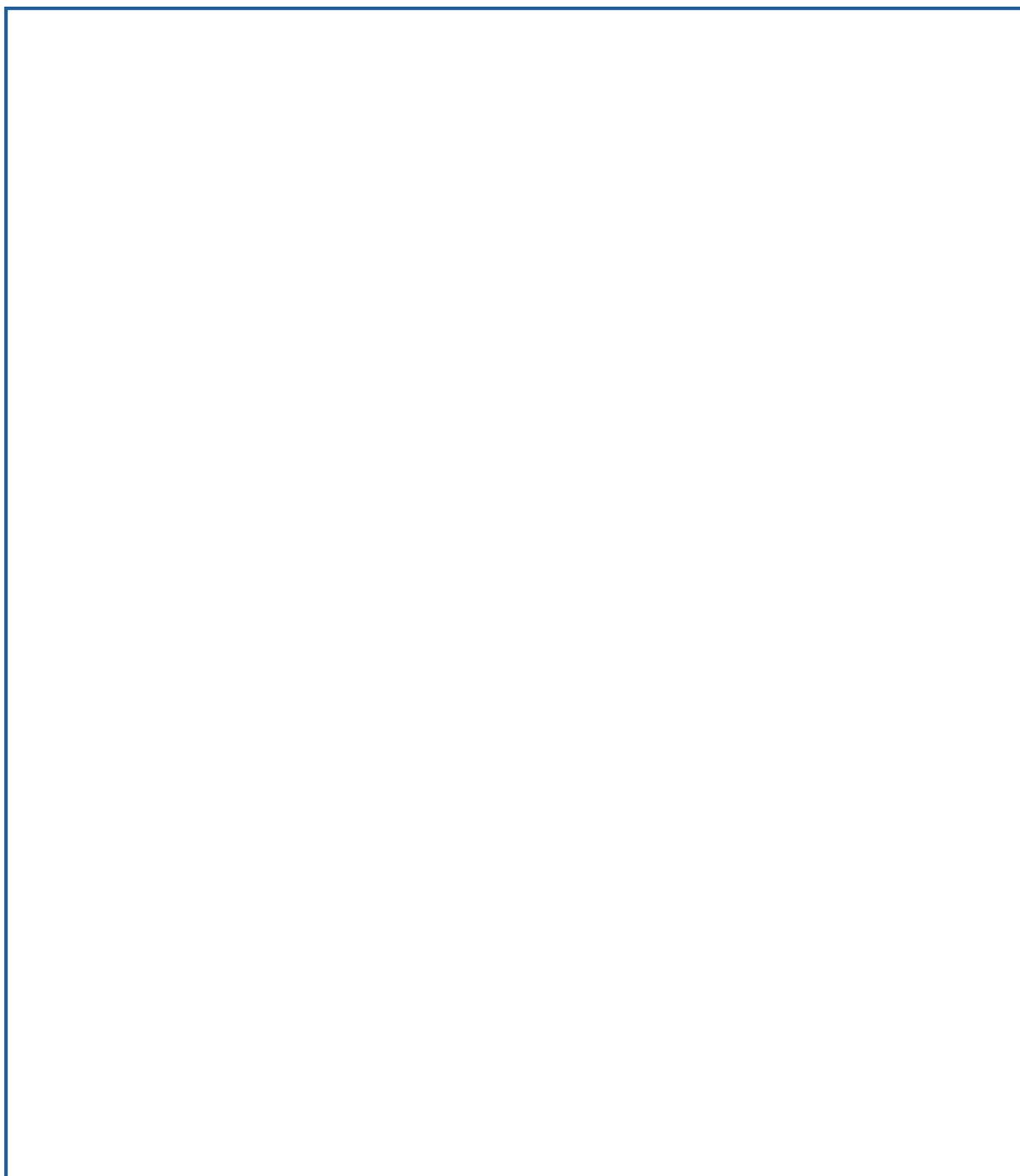
役割分担表

役割	担当者
地域への呼びかけ担当	
認知症サポーター養成講座の手配担当	
資料作成担当	
受付担当	
進行担当	
記録・追尾担当	
放送担当	
行方不明者役担当①	
行方不明者役担当②	
行方不明者役担当③	
当日の緊急連絡先	

*役割や内容は自由に追加・変更できます。

★様式4

搜索エリア図



*地図や航空写真等を貼り付けてエリアを線で囲んでみましょう。

★様式5

当日のスケジュール表

時 間	内 容	備考
：	集合	
：		
：		
：		
：		
：		
：		
：		
：		
：		

*時間や内容は自由に設定できます。

